

第6次総合計画 基本構想（素案）の 検討について

目次

ページ数	内容
3～	1. 総合計画における「基本構想」の位置づけ
4～	2. 本日予定している議事の要点
5～	3 - 1. まちの未来像
6～	3 - 2. 私たちが大切にしたい思い（基本姿勢）
12～	3 - 3. 未来像の実現に向けて川西を動かす6つの目標
14～	4 - 1. 総合計画策定における、個別の取組みにかかる進捗状況
15～	4 - 2. 市長と語る かわにしMeeting
19～	4 - 3. 地域団体との懇話会

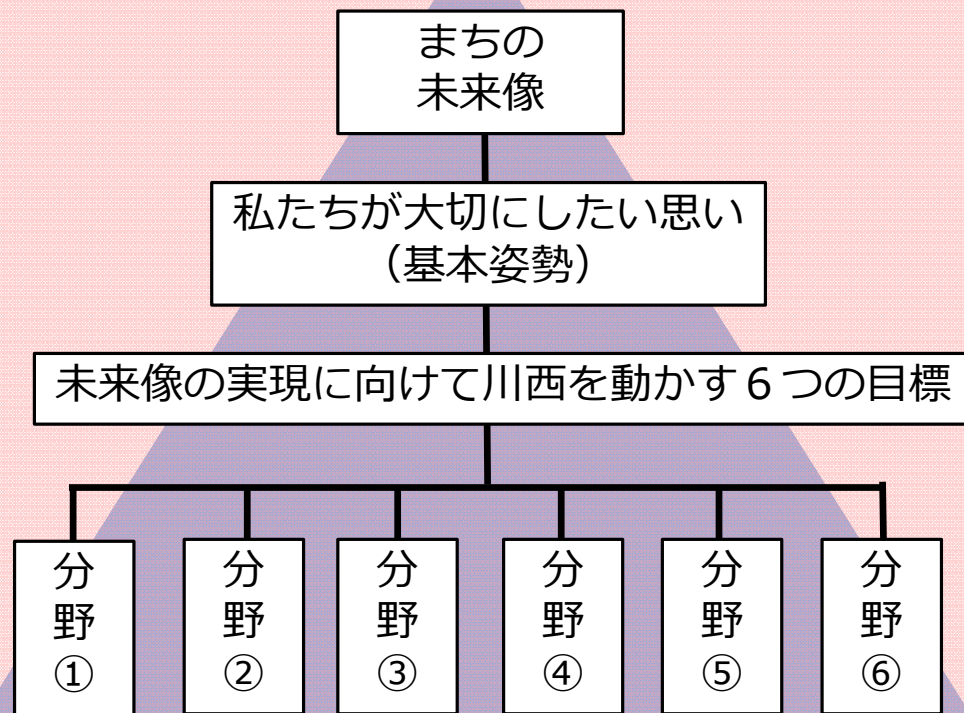
1. 総合計画における「基本構想」の位置づけ

基本構想

川西の「**まちづくりビジョン（未来像）**」と、それらを**実現するための「基本的な考え方」**を示すもの

「**川西がこんなまち（状態）になったらいいな**」という具体的なシーンを、**施策分野別**に整理。かつ、それらを概ね6つのグループに分類。

※暫定的に「6つ」としていますが、変更する場合があります。なお、総合計画は本市のすべての行政計画の上位計画であることから、**いずれの施策分野も包括的に記載**する必要があります。



基本計画

○○を削減するための取組みを継続し、△△を解消します。(関連する個別計画：▲▲推進計画)

実施計画

- ・○○事業（実行するための具体的な年次計画）
- ・■ ■ 事業

基本構想に掲げる未来像の実現のために取り組むべき「**手段**」を示すもの

2. 本日予定している議事の要点

基本構想

ビジョン、考え方

まちの
未来像

私たちが大切にしたい思い
(基本姿勢)

未来像の実現に向けて川西を動かす6つの目標

分野
①

分野
②

分野
③

分野
④

分野
⑤

分野
⑥

基本計画

実施計画

ビジョンを実現
するための手段

●基本構想の構成と策定プロセスは適切であるか

総合計画を【みんなでつくる計画】

【わかりやすい計画】

【みんなで達成をめざす計画】 とするために、

○本市の「ありたい姿」やその考え方について、難しい言葉を多用せず、わかりやすく伝えようとしているか？

○また、それらを十分な根拠に基づき策定しようとしているか？

策定方針より一部抜粋

●みんなでつくる計画とする

策定過程から多くの市民が関わる機会を設け、ともにつくる計画とします。

●わかりやすい計画であること

みんなでまちづくりを進めるため、本市がめざす未来像・大切に考える考え方を市民・市民公益活動団体・事業者・行政が共有できるようなシンプルでわかりやすい計画とします。

●みんなで達成をめざす計画であること

総合計画は行政が実施する事業を記載した計画ではなく、市民・市民公益活動団体・事業者・行政が、達成に向け自主的かつ主体的に行動する計画とします。また、計画を進めるなかで生まれた市民活動、市の事業、市民生活の変化等について共有できるようにします。

3 - 1. まちの未来像

まちの
未来像

川西の「ありたいまちの姿」を示します。

構
成
案

(仮) 川西らしさを象徴するキャッチフレーズ

「ありたいまちの姿」につながる未来へのキーワード

(例)

- ・ 市民 1 人ひとりがまちの主役である。
- ・ 誰もが居心地のよさを感じられる。
- ・ みんなが笑顔になれる。

キーワードの材料

「市長と語る かわにしMeeting」や「(仮称) 市民会議」など、市民が参加する取組みが中心となる予定です。

3 - 2. 私たちが大切にしたい思い（基本姿勢）

私たちが大切にしたい思い （基本姿勢）

未来像の実現に向けて、私たちが何を大切にしようとしているか。その思いを示すものです。

構成案

- (1)まず、子どもが幸せになります。
- (2)人に寄り添い、お互いの個性を認め合います。
- (3)未来に責任を持ち、持続可能なまちをめざします。
- (4)日々の暮らしで感じられる幸せを大切にします。

補足

これらは、「川西市総合計画策定方針」内、「本市の大きな方向性」に記載されている6つの項目を再構成（※）したものです。

※再構成に至った理由

「市民と共有する計画」「わかりやすい計画」「みんなで達成をめざす計画」とするために、より馴染みやすい表現に置き換える等、加筆修正を行いました。

3 - 2. 私たちが大切にしたい思い (基本姿勢)

【旧】 川西市総合計画策定方針より

「本市の大きな方向性」

(1) **こどもが幸せな社会を形成する**
「こどもが幸せな社会は、みんなが幸せな社会」という考えをもとに、こどもに関する政策からスタートさせることで、市民が幸せを感じるまちをめざします。

(2) **困難を抱える市民に寄り添うまちづくりを進める**
個人だけで抱えるべきではない課題に直面しながら声を出せない人や助けを求められない人に寄り添い、みんなが幸せになるための後押しをします。

(3) **多様性が当たり前になる社会の形成をめざす**
「声が出せない」背景のひとつとして多様性が認められていないことがあると考えることから、人々が多様性を認めあえる社会をめざします。

(4) **何気ない日常生活の幸せを増やしていく**
市民一人ひとりが、日常生活の中で幸せを感じる時間や景色を増やします。そのために、「一人ひとりに居場所があること」「誰かに、必要とされる存在であること」「自らが意思決定できる環境であること」を大切にします。

(5) **持続可能な社会の構築を進める**
・人口増加を目的とするのではなく、市の現状を見直し、人口減少を踏まえた社会の形に変えていきます。
・今後のまちのあり方や負担のあり方を見直し、持続可能な社会を構築します。

(6) **市民一人ひとりがまちづくりのプレイヤーとして活躍できる舞台をつくる**
・川西市に関わり、まちに愛着をもつ市民が増えるようなまちづくりを進めます。
・市民一人ひとりが川西市のことや地域のことを「自分事」として捉え、自治をはぐくむための取組を進めるための支援を行います。
・人と人が出会える場や、やりたいことを後押しできる方法を見つけるための場となるプラットフォームを設けます。

【新】 基本構想素案より

私たちが大切にしたい思い(基本姿勢)

未来像の実現に向けて、私たちが何を大切にしようとしているか。その思いを示すものです。

(1) **まず、子どもが幸せになります。**
子どもたちの笑顔は、世代を超えた賑わいや活力を地域にもたらします。笑顔あふれる子どもの成長を通じて、あらゆる市民が幸せを感じられるまちをめざします。

(2) **人に寄り添い、お互いの個性を認め合います。**
誰もが、地域の一員として誰かを支えたり、フォローできる役割を少しずつ持っています。各々のペースでまちに関わりながら互いを尊重し、多様な個性を認め合えるまちをめざします。

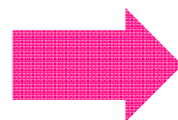
(3) **未来に責任を持ち、持続可能なまちをめざします。**
私たちは、このまちを未来の子どもたちにしっかりと引き継ぐ責任があります。そのために、人口減少社会や自然災害等を見据え、既存のまちのあり方を柔軟に見直していきます。

(4) **日々の暮らしで感じられる幸せを大切にします。**
1人ひとりに安らげる居場所や充実した時間があることで、このまちで過ごす時間がかけがえない思い出になっていきます。「やってみたい」ことに自らチャレンジでき、それを応援しあえるあたたかいまちをめざします。

※「わかりやすい計画」「市民と共有する計画」「みんなで達成をめざす計画」とするため、より伝わりやすい表記に変更しようとするものです。

3 - 2. 私たちが大切にしたい思い（基本姿勢）

子どもたちの笑顔は、世代を超えた賑わいや活力を地域にもたらしめます。笑顔あふれる子どもの成長を通じて、あらゆる市民が幸せを感じられるまちをめざします。



(1)まず、子どもが幸せになります。

○「子どもが笑顔になる社会」の実現は、本市の最初の目標です。総合計画は「みんなで共有する計画」、「みんなで達成をめざす計画」であることから、子どもの幸せを【子ども自身を含めたみんなで】考えることが、これからのまちづくりのスタート地点になると考えます。

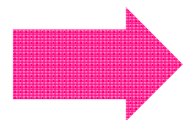
○「こどもが幸せな社会は、みんなが幸せな社会」と考える理由を補足しました。

※参考にした
策定方針

	こどもが幸せな社会を形成する
(1)	「こどもが幸せな社会は、みんなが幸せな社会」という考えをもとに、こどもに関する政策からスタートさせることで、市民が幸せを感じるまちをめざします。

3 - 2. 私たちが大切にしたい思い（基本姿勢）

誰もが、地域の一員として誰かを支えたり、フォローできる役割を少しずつ持っています。各々のペースでまちに関わりながら互いを尊重し、多様な個性を認め合えるまちをめざします。



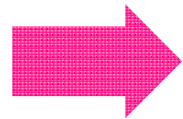
(2) 人に寄り添い、お互いの個性を認め合います。

※参考にした
策定方針

(2)	困難を抱える市民に寄り添うまちづくりを進める 個人だけで抱えるべきではない課題に直面しながら声を出せない人や助けを求められない人に寄り添い、みんなが幸せになるための後押しをします。
(3)	多様性が当たり前になる社会の形成をめざす 「声が出せない」背景のひとつとして多様性が認められていないことがあることから、人々が多様性を認めあえる社会をめざします。
(6)	市民一人ひとりがまちづくりのプレイヤーとして活躍できる舞台をつくる ・川西市に関わり、まちに愛着をもつ市民が増えるようなまちづくりを進めます。 ・ 市民一人ひとりが川西市のことや地域のことを「自分事」として捉え 、自治をはぐくむための取組を進めるための支援を行います。 ・人と人が出会える場や、やりたいことを後押しできる方法を見つけるための場となるプラットフォームを設けます。

3 - 2. 私たちが大切にしたい思い（基本姿勢）

私たちは、このまちを未来の子どもたちにしっかりと引き継ぐ責任があります。そのために、人口減少社会や自然災害等を見据え、既存のまちのあり方を柔軟に見直していきます。



(3) 未来に責任を持ち、持続可能なまちをめざします。

※参考にした
策定方針

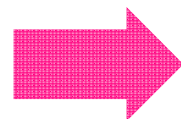
持続可能な社会の構築を進める

(5)

- ・人口増加を目的とするのではなく、市の現状を見直し、人口減少を踏まえた社会の形に変えていきます。
- ・今後のまちのあり方や負担のあり方を見直し、持続可能な社会を構築します。

3 - 2. 私たちが大切にしたい思い（基本姿勢）

1人ひとりに安らげる居場所や充実した時間があることで、このまちで過ごす時間がかげがえのない思い出になっていきます。「やってみたい」ことに自らチャレンジでき、それを応援しあえるあたたかいまちをめざします。



(4) 日々の暮らしで感じられる幸せを大切にします。

※参考にした
策定方針

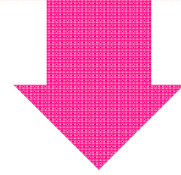
(4)	何気ない日常生活の幸せを増やしていく
	市民一人ひとりが、日常生活の中で幸せを感じる時間や景色を増やします。そのために、「一人ひとりに居場所があること」「誰かに、必要とされる存在であること」「自らが意思決定できる環境であること」を大切にします。
(6)	市民一人ひとりがまちづくりのプレイヤーとして活躍できる舞台をつくる
	・川西市に関わり、まちに愛着をもつ市民が増えるようなまちづくりを進めます。 ・市民一人ひとりが川西市のことや地域のことを「自分事」として捉え、自治をはぐくむための取組を進めるための支援を行います。 ・人と人が出会える場や、やりたいことを後押しできる方法を見つけるための場となるプラットフォームを設けます。

3 - 3. 未来像の実現に向けて川西を動かす 6つの目標

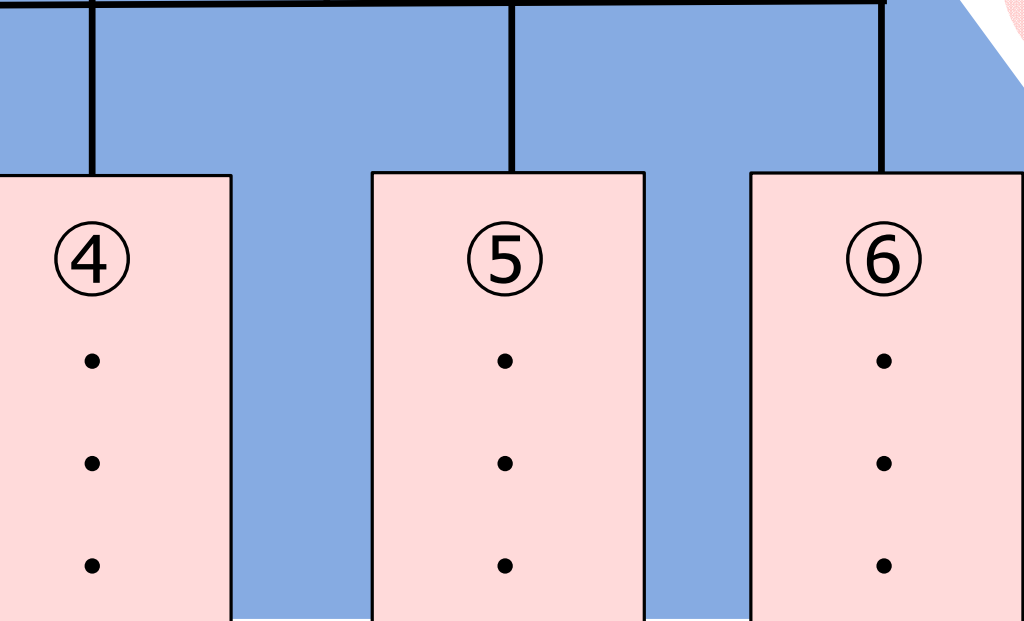
未来像の実現に向けて川西を動かす 6つの目標

「川西がこんなまち（状態）になったらいいな」というシーンを、施策分野別に整理。かつ、それらを概ね6つのグループに分類。

構成案	① 未来を拓く子どもや若者が豊かに育つまちの実現	② 賑わいと活力があふれ、ひと・まち・さとの魅力が磨かれていくまちの実現
	③ もしもの備えと日々のつながりが、安全や安心をはぐくむまちの実現	④ 自分らしさが尊重され、誰もがいきいきと輝けるまちの実現
	⑤ 都市基盤と自然が調和し、快適に過ごせるまちの実現	⑥ 変革の歩みを止めないまちの実現



次ページで例を挙げながら補足します。



3-3. 未来像の実現に向けて川西を動かす6つの目標

(記載例)

③もしもの備えと日々のつながりが、安全や安心をはぐくむまちの実現

防犯／防災／消費生活／医療／福祉／介護／地域コミュニティ

○市民自らが、自身の心と体の健康に関心を持ち、健康増進に取り組んでいる。

○医療・福祉を必要とするときに、適切な助言・サポートを受けながら安心して利用できる。

○防災訓練や高齢者の見守りなど、自分や周りの命を守る取組みに可能な範囲で携わっている。

○.....

← 施策分野を概ね6つのグループに分類したもの

← **施策分野**
※ とリンク

これからの日常で達成が望まれる「状態」の具体例≡「こんなまち(状態)になったらいいな」と市民が感じていること

← かわにしMeetingや住民アンケート、(仮称)市民会議などをもとに作成予定

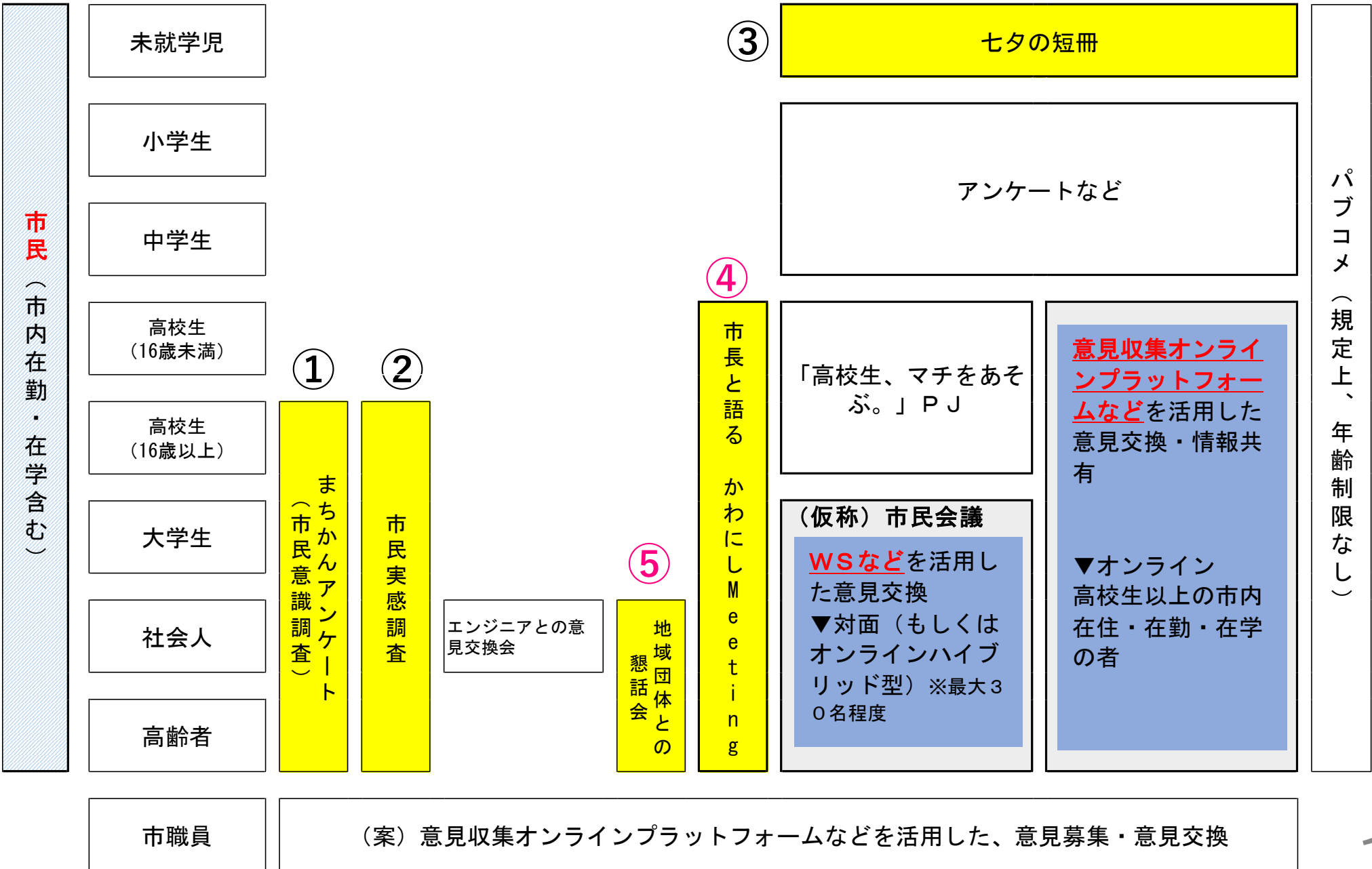
※様々な取組みを進めるにつれ要素が増え、加筆修正されていくイメージ

※各個別計画の内容とも整合している必要があるため、今後調整を図ります。

4 - 1. 総合計画策定過程における、個別の取組みにかかる進捗状況 (R4.11月時点)

【図】第6次総合計画策定過程における、様々な市民とのかかわり方 (令和4年11月時点)

今回は
 ④かわにしMeeting
 ⑤地域団体との懇話会
 について報告。



4-2. 市長と語る かわにしMeeting

●開催期間

令和4年6月18日(土)~7月17日(日)
※各会場2時間

●開催回数

14回 (小学校区ごとに開催)

●参加人数 (総数)

265 名

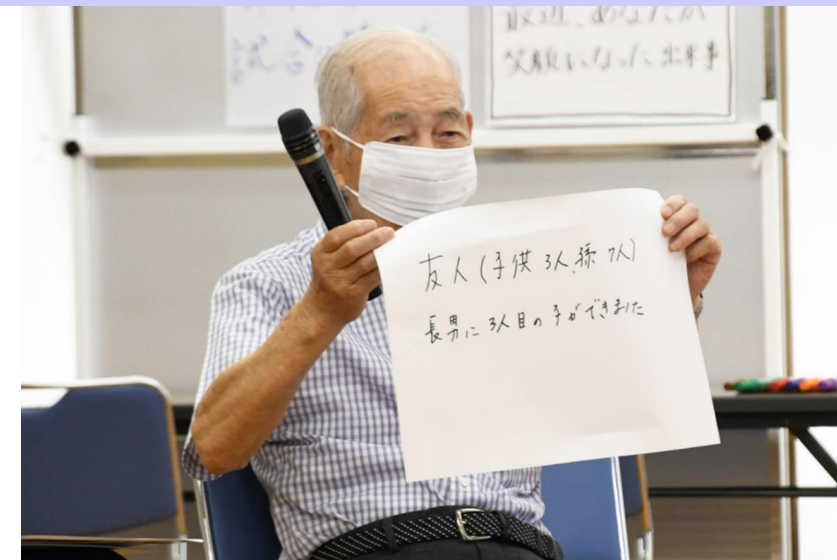
※各会場の定員は30名

●ミーティングで参加者に尋ねたこと

「最近、あなたが笑顔になったできごとは何ですか」



「**みんなが笑顔で暮らせるために、どんなまちになったらいいと思いますか。また、あなたはどんなことをしたいですか**」



4-2. かわにしMeeting（参考）発言内容の主な分類

ミーティングで参加者に尋ねたこと

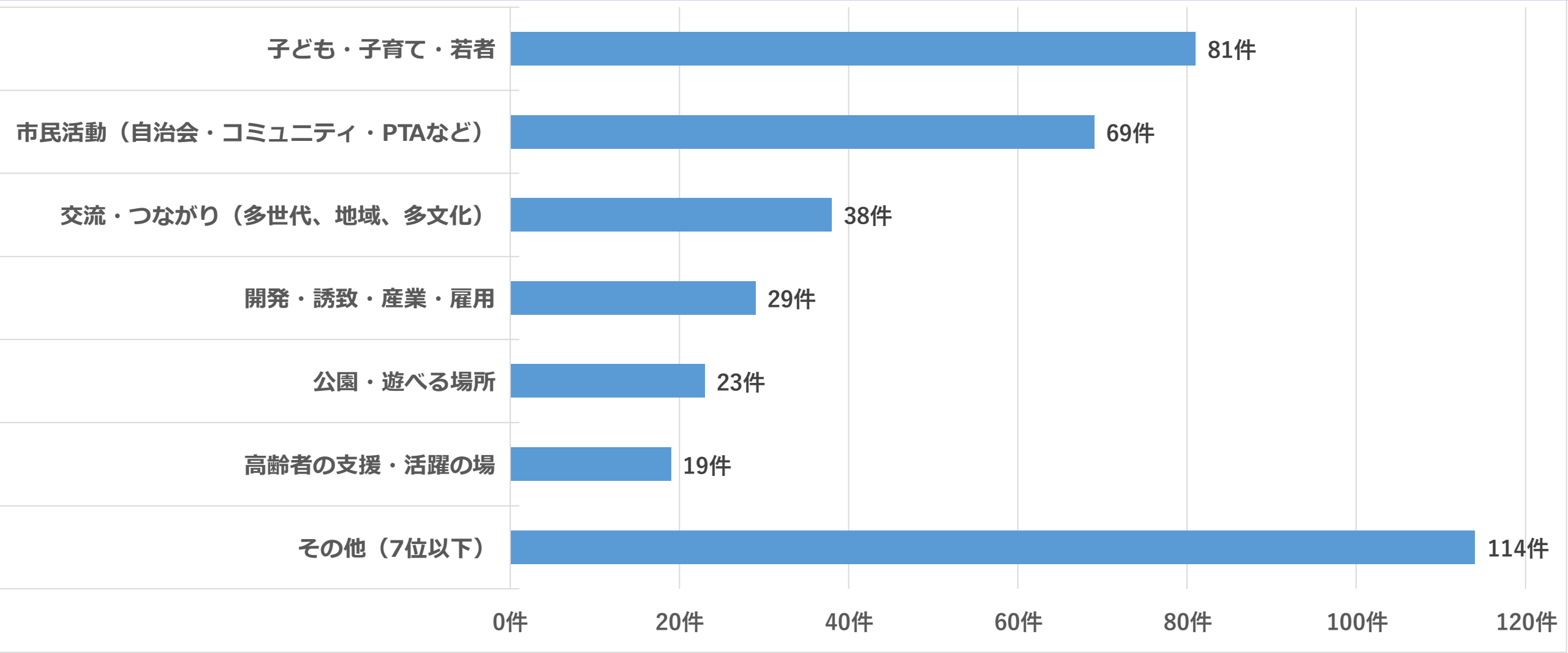
みんなが笑顔になるために、川西がどんなまち（状態）になったらいいと思いますか。
また、あなたはどんなことをしていきたいですか。

○発言のあった内容を以下のグループに分類し、近しいものを最大3つまで選んでいます。

分野	
1 公共交通・移動支援	11 医療・介護・病院
2 公園・遊べる場所	12 公共施設・公共用地
3 子ども・子育て・若者	13 生涯学習・社会教育
4 交流・つながり（多世代、地域、多文化）	14 開発・誘致・産業・雇用
5 市民活動（自治会・コミュニティ・PTAなど）	15 コロナ対策・ワクチン接種
6 高齢者の支援・活躍の場	16 ICT推進・情報管理
7 魅力発信（対市外）	17 農業・特産品
8 情報発信（対市民）	18 住居の確保（補助）・空き家活用
9 歴史・文化・祭り	19 防災・災害対応・安全
10 環境保全・資源・エネルギー	20 市政・政治・選挙

※対話の流れ等により、複数の発言を「1件」とカウントしている場合があります。

4-2. かわにしMeeting (参考) 主要内容と発言回数 (件)



※対話の流れによって、複数の発言を「1件」とカウントしている場合があります。
※複数のテーマにまたがる発言は、1件につき最大3つ当てはめています。

4-2. かわにしMeeting 対話内容に見る、基本構想の素材

【テーマ】 みんなが笑顔になるために、川西がどんなまち（状態）になったらいいと思いますか。また、あなたはどんなことをしていきたいですか。

発言例

若い人に笑顔になってもらうのが一番だと思うんですね。若いお母さんとちびちゃんと会う機会が多くて、
(中略) **我々高齢者もそこから元気がもらえます。**

子ども・子育て・若者

交流・つながり

自治会でも、**特色ある公園づくり**を進めています。遊具をどうするとかについて、**特に若い方の御意見がほしい**のでぜひとも来ていただきたいですね。

市民活動

公園・遊べる場所

①未来を拓く子どもや若者が豊かに育つまちの実現
子ども・子育て／学校教育／若者

- 安心して子育てができ、子どもがのびのびと過ごしている。
- 子どもと保護者を地域で見守り、困ったときに手を差し伸べている。
- 一人ひとりの個性を大切に、多様な学びの場や居場所がある。
- 妊娠・出産を希望しながら不妊や不育に悩む夫婦に、支援の場を提供している。
- ……………

⑤都市基盤と自然が調和し、快適に過ごせるまちの実現
自然環境／資源・エネルギー／都市機能／道路／住環境／上下水道／公園・緑

- 身近な公園のあり方を地域で考え、気軽に利用・交流できる場になっている。
- 誰もが市内での移動がしやすくなっている。
- ……………

4-3. 地域団体との懇話会

- **概要** 市長と、各コミュニティ組織の会長及び役員などとの対話の場
(川西はおおむね小学校区単位で14組織)
- **開催期間** 令和4年8月3日～8月15日
- **開催方法** コミュニティ組織単位で約30分ずつ、対面による市長との懇談の場を設定

【主なテーマ】 コミュニティの現状や課題について (会長、役員などの方が日頃感じていること)

発言例

子育ての困りごとを地域で支援できないか

- ・ ヤングケアラーや不登校問題について地域で相談できるような居場所をつくりたい
- ・ 子育てを支援し、若い世代が住みやすいまちへ

① 未来を拓く子どもや若者が豊かに育つまちの実現

子ども・子育て／学校教育／若者

- 安心して子育てができ、子どもがのびのびと過ごしている。
- 子どもと保護者を地域で見守り、困ったときに手を差し伸べている。
- 一人ひとりの個性を大切に、多様な学びの場や居場所がある。

コミュニティ・自治会の担い手不足を解消したい

- ・ 新たな取り組みができず、継続も困難に
- ・ 共働きの家庭が増えたことなども影響して、PTAの役員も不足している

コミュニティでは、よりよいまちづくりの為に、登下校時における安全確保や子どものスポーツ活動、子育ての困りごとの支援など、様々なことに取り組んできました。人口減少や家族構成の変化等がある中で「活動しやすい環境」を維持・創出していくには、様々な主体が連携して取り組む必要があります。